



小泊消防署前・パレード参加者

火災予防パレード 実施される

春の火災予防週間が、4月9日から15日の7日間実施されました。住民の防火の意識を高めるために、初日の4月9日(月)に小泊地域で火災予防パレードが実施され、消防団員、婦人防火クラブ、消防職員が参加し、地域内を指令車・タンク車・救急車・分団のポンプ車3台・広報車の計7台でパレードしました。住民の皆さんは、普段から火の取り扱いには十分気をつけましょう。

中泊119

平成19年5月号

火事/救急/救助は
119番
五消本部病院照会
34-4999番
中里消防署
57-2370番
小泊消防署
64-2375番



小泊地区・火災予防パレード

山火事・山岳遭難防止

今年も、いよいよ本格的な山菜シーズンを迎え、山に入る機会も多くなることで山火事・山岳遭難事故も、この時期に多く発生しています。その原因としては、入山者のタバコ・焚き火など火の不始末によるものがほとんどです。

ハイキング等で、炊事のために焚き火をした場合は、残り火に十分注意し、水をかけてしっかり消えたのを確認しましょう。また、特に喫煙者のひとはタバコのポイ捨てをやめて、携帯

用の灰皿を持ち歩き、火の元に十分注意しましょう。

美しい緑の山を一瞬のうちに灰にしてしまう火災から山を守るためには、入山者一人ひとりが注意しなければなりません。町民の財産である美しい緑の山を守りましょう。

☆遭難事故を防ぐためには次のことに注意しましょう。

- ① 天気予報をよく確かめる。
- ② 天候が悪くなりそうな時は、早めに切り上げる。
- ③ 少人数で地理の分からない山には入らない。
- ④ 着替え、雨具、食料等を持つ。
- ⑤ 家族などへ山のコース、帰宅時間、同行者などを知らせておく。

☆遭難事故にあった時のために

- ① 次のことを心掛けましょう。
- ② その場から、なるべく動かないようにし、救助を待つ。
- ③ 着替え、雨具等で体を冷やさないようにする。
- ④ 衰弱しないように、少しずつ

食料をたべる。

◎ご協力お願いします。

時間を過ぎても帰宅しなかった場合は、早めに消防署まで連絡してくれば、迅速な対応ができます。

☆『山での事故には

気をつけましょう。』

いよいよ春が訪れ、山菜とりシーズンがやってきました。春の山は、雪解けしたばかりで足場がぬかるみ、転落・転倒で怪我をしたり、蛇に咬まれたり蜂にさされるなど予期しない状況に陥る事があります。

- ① 骨折・脱臼・捻挫・靭帯損傷の疑いがある場合。
- 腕の場合

木の枝などを副木代わりにして骨折部分を上下でタオル等で縛り、そのまま固定する。

② 毒蛇に咬まれたら。

● まず咬まれた部分より心臓に近い部分を血管が軽く浮き上がる程度に縛り、傷口を洗い流す。

有ルーツ「泉の里」 普通救命講習Ⅱ

3月12日、15日、21日、24日の4日間にわたり泉の里職員20名が中里消防署内で普通救命講習Ⅱを受講されました。

講習Ⅱを受講されました。

講習会では、AED(自動体外式除細動器)を使用した心肺蘇生法を熱心に取り組んでいました。



AED取扱い

小泊消防署へ 電話をかける時は

☆TEL

0173-64-2375

☆FAX

0173-64-3119

小泊消防署の一般加入電話は、64-2375、64-3119、の2局あります。このうち64-3119はFAX兼用ですので、FAX送受信時、この電話は話し中になります。御用件のある方は、64-2375を優先して下さい。

「火事と救命は119へ」